

損害保険トータルプランナー 東京代協が記念品授与式行う 日本代協・東京ブロックセミナー



金子東京代協会長

新替日本代協・東京ブロックセミナー(東京代協開催)が1月20日午後2時15分から、東京・千代田区の損保会館で開催され、損害保険トータルプランナー記念品授与式が行われた。東京代協での今期の認定者は72名。授与式当日は損保協会の鈴木久仁協会長や日本代協の岡部繁樹会長が列席し、認定者を祝した。

認定証と記念品の授与式に先立ち、東京代協の金子智明会長と日本代協の岡部会長、損保協会の鈴木協会長がそれぞれ挨拶。金子会長は「今年の干支は申。私もそれにちなみ、代協支部長たちとのチームワークを大切にしながら連携して、明る



岡部日本代協会長



鈴木損保協会長

くポジティブな気持ちで皆と前進していきたい」と今年の抱負を述べた。岡部会長は、今年5月の改正保険業法の施行に伴う代理店と募集人のあり方について述べ、「今年には改正保険業法が施行される。お客様が資質の高い募集人や代理店から保険に加入するのは当たり前のことだ。こうしたなか、独自のサービスや強みを展開してくる代理店がどんどん増えてくるだろう。お客様の代理店を選ぶ目があります。厳しくなっていくというこ



認定者の皆さん

だ。今後はお客様に対して、単なる商品売りではなくリスケベースの提案をするといった助言能力を意識していかねばいけない」と呼びかけた。鈴木協会長は今期の認定者に祝辞を述べ、「損害保険トータルプランナーの認定により皆さんは、高度な専門知識やスキルを身につけることができた。いわば、すばらしい武器を手に入れたといえる。今後、その武器を保険募集の実務面で大いに活用いただき、お客様にとって身近で頼りに

なるプロとしての役割を、一層、発揮してもらいたい」と期待を示した。認定証の授与では、当日出席した新規認定者16名に日本代協の岡部会長から認定証が手渡された。登壇した認定者からは「認定されたことで、今まで以上に自信を持って募集活動に取り組んでいきたい」といった抱負の声があがった。続いて記念セミナーでは、損保協会堀政良専務理事が「保険業界を巡る環境変化と課題」について講演。